
クルクルとグルグル

今ダ 果枯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クルクルとグルグル

【Nコード】

N3454BA

【作者名】

今ダ 果枯

【あらすじ】

博士と美人な助手の大発見。

「博士！ この超電磁ネズミ、亜空間エネルギーの反発力によって空中で乱回転してます！！」

「うむ、助手よ実験は成功だ！！ これを応用することが出来れば、半永久的に回り続けるネズミモーターの特許を取って、億万長者になるのも夢ではないぞ！！」

「私、今日始めて博士の助手をやっていて幸せだと思いました」

「ああ、助手よ。僕も初めて、お前に美人以外の価値を感じたよ」

「博士ー」

「助手よー」

ギョッ

「博士、やはりこのモーターの名前は『クルクルネズミモーター』ですよね！」

「ふっ！ 我が助手だけあって惜しいネーミングセンスをしているな、このモーターの名は『グルグルネズミモーター』だ！！」

「おかしいです！！ 博士、絶対『クルクル』の方が可愛いですよ！！」

「何を言っているんだ、助手よ！ 『グルグル』の方が力強いでわ

ないか！ 仮にもモーターの名前だぞ、考え直せ、助手よ！！」

「『クルクル』です！！」

「いや、絶対に『グルグル』だな！！」

「クルクルです！！」

「グルグルだっ！！」

「クルクル！」

「グルグル！」

「ギョロロロロ」

（。。。）ハア？

「は、博士！ このネズミ吐きましたよ」

「ああ、助手よ、恥ずかしながら、僕はネズミが吐くところを始めてみたぞ」

「わ、私もです」

「これは早速、研究する必要がある」

「そうですね！！」

「こんな邪魔な装置取り壊してしまえ！」

「そうですねよ、さっさとどけちゃいませう！！」

こうしてまた、世の中を変えるほどの偉大な発見がなかったことになりました。

(後書き)

息抜きに、適当に書いたものです。

評価、感想、宣伝などもお気軽にどうぞ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3454ba/>

クルクルとグルグル

2012年1月8日23時51分発行